

A woman with long, wavy brown hair is the central figure. She is wearing a black, high-cut, long-sleeved top with a small floral detail on the chest, and a white, high-waisted skirt. She is standing in a city street at night, with buildings and signs in the background. The scene is dimly lit, with a purple and blue color palette. The text '第一話' is overlaid on the left side of the image, and '美人妻 沙雪' is overlaid across the center.

第一話

美人妻 沙雪

沙雪さんは、ご近所のおじいちゃんや
商店街のオジサマたちに大人気の
アイドル人妻です。おっとりした表情と、その
ナイスバディに男たちは釘付け。
しかし、そんな沙雪さんには人には言えない
秘密があったのです…

あら、こんにちはは、おじいちゃん。
今日もいいお天気ですね♪

はああく♪沙雪さんは相変わらず
美人さんじゃあ♪女神様じゃあ♪

たふっ♡

ゆき♡



ぐふふ♪沙雪さん、今日もちやあんと
言いつけを守っておりますしたかな？
では、今からみんな確認しますぞ♪

かあぁぁぁ

沙雪の自宅で、複数の男たちが
いやらしい笑いを浮かべている。
この男の言つ「言いつけ」とは
なんなのか…

むち♡

どたみん♡

ああ…オジサマ…
おねがいです…
もう…こんなことは…
これっきりに…

これっきりかどつかは、これから
ゆるっくり判断していきましょつかな
むふふ♪

男たちの前で、恥じらいながら
ゆっくりと服を脱ぐと、
そこには、想像以上に淫靡な
光景が広がっていた

おほほっ♪美しい♪いつ観ても
美しいですぞ、沙雪さん♪

赤、あわ〜っ♡♡

やああ…おねがいです…
見ないで…

白い柔肌は、胸を強調するように
縄で縛られ、手で恥ずかしい場所を
隠すことができないよう、後ろ手で
縛られ、そのカラダは余すことなく
男たちの好奇の目にさらされる。
秘部には、いやらしい玩具が入り込み
無機質な音を立てている

ぐわ〜っ♡

むちっ♡

むち♡

沙雪は、恥ずかしさと快楽が入り混じったような
潤んだ瞳で、男たちに許しを請うような、甘えるような
まなざしを向ける。そのまなざしに、男たちはますます
興奮し、我慢できずにモノをしごく者まで現れた

むほおお♪たまらんわい♪
相変わらず男を誘ういやらしいカラダだ♪
ぐふふ、沙雪さん、どうして
ほしいんですかな？そんなに腰を
モジモジさせて♪



あ…いちめて…また…沙雪のことを…
みなさんの好きに…いちめてください…
いやらしいことを…いっぱい…して…

うひよ♪美人人妻のオネダリ、たまらんわい♪
このスケベなカラダは、旦那とのセックスでは
満足できないのじゃな？可哀そうにお♪
みんなで、たっぷり可愛がってやるからな♪

おあずけをされていた犬が食べ物に群がるように、男たちが堰を切ったように沙雪の身体に襲い掛かる。我先にと、その豊満なカラダを揉みしだき撫でまわし、いやらしく舌を這わせる。身体中のいろいろな場所を刺激されはしたなく声をあげてしまつ人妻…

はああんっ、っ

しっ、っ

はああんっ♡♡
やっ♡そんな…いきなりっ…♡
あんっ♡すごい…のっ♡
やんっ♡おじいちゃ…乳首…
クリクリしちゃ…あああんっ♡♡
オジサマあ…おへそ食べちゃだめえっ♡♡

はあああ♪最高じゃあ♪最高じゃあ♪
この雪のように白い滑らかな肌♪
ずっしりと重みを感じる乳房♪
ほおれ♪こっやっって首筋を撫でられるのも好きじゃあろお？

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

男たちの欲望は、ますますエスカレートする。
両の乳首をときには優しく、ときには激しく
いちめあげ、太ももに舌を這わせ、いやらしい玩具の
スイツキを上げ下げして身体中に快楽の刺激を与える。
沙雪が甘い声をあげて反応すると、またそれに喜び
全員で、この雌に快楽を与えようとしてくる

ほおれ♪どうじゃ？ええか？
ここがええのかあ？むほほ♪
バイブとローターもお気に入りに入りじゃな♪
いやらしい音を立てながら、しっっかりと
啜えこみおって♪

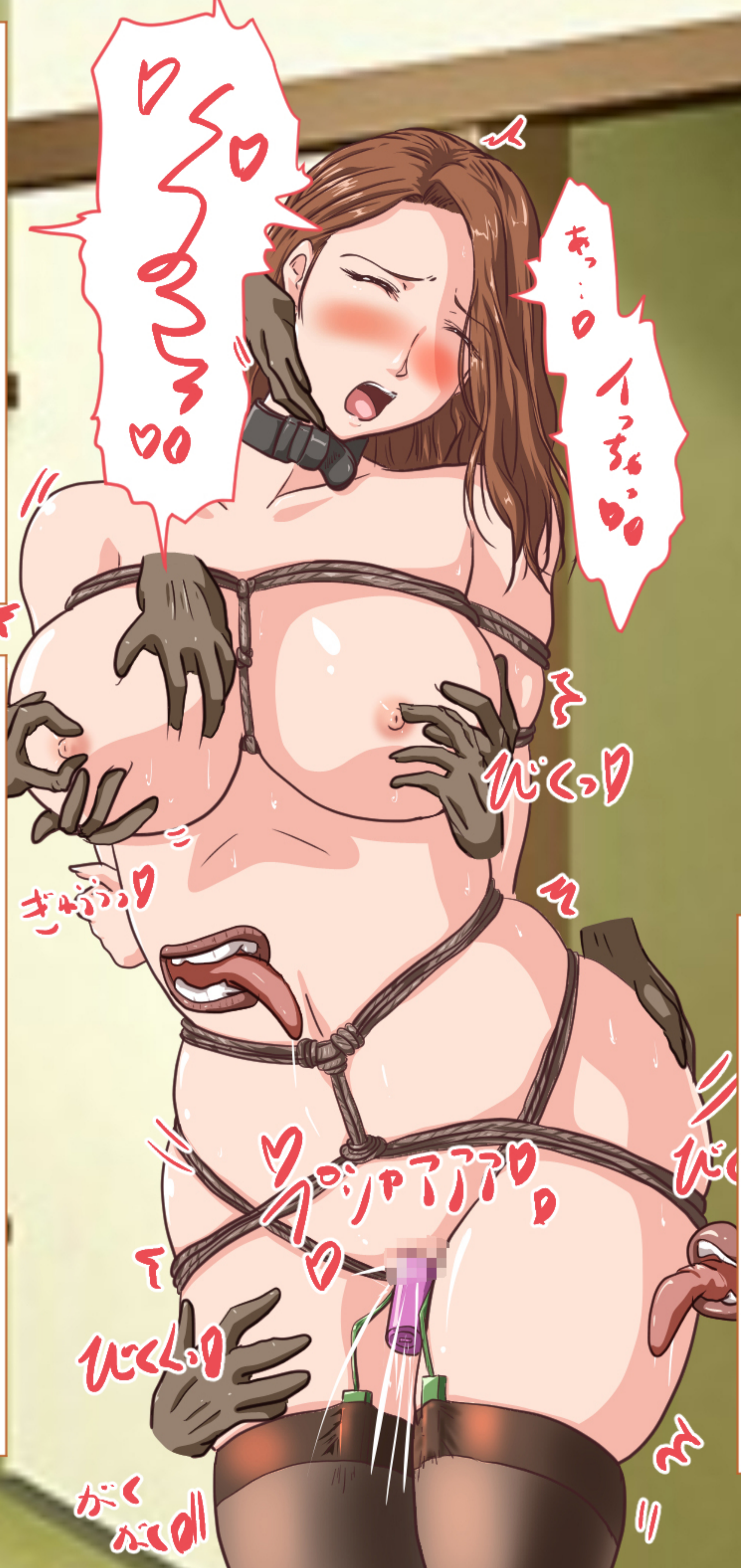
はあはあ♪沙雪さんや、どうじゃ？
乳首がそんなにええのか？こんな
プツクリ、ゴリゴリさせおって♪
人妻のくせに、はしたない娘じゃ♪
おっほほ♪

やっ…♡♡オジ…サマ…おじいちゃ…
みんなで…そんなに一度にされたら…
ああ…スゴいのお♡♡こんなの初めてで…
おかしくなっちゃう…♡♡
もう…あたまが…真っ白に…♡♡



沙雪の頭からは、今は旦那への想いは忘れ去られていた。
今はただこの快楽に身をゆだねていたい……
一匹のメスとして、オスにされるがまま、絶頂を迎えたい……
その気持ちだけだった……。そして……

それっ♪イけっ♪イけっ♪
沙雪っ♪ワシらの手と舌で
たっぷり気持ちよくなっ♪てイけっ♪
この淫乱人妻がっ♪



あんっ♡♡♡いっくっ♡♡♡
イクっ♡♡♡いきますっ♡♡♡
も……だめ……♡♡♡抑えきれないのっ♡♡♡
沙雪は……みなさんにいぢめられて……
はしたなくイっっちゃ……♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
あああああっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

身体をビクンビクンと痙攣させ、その秘密の
場所から潮を勢いよく噴き出しながら沙雪は
絶頂を迎える。男たちは、その姿を鑑賞するように
下卑た笑いを浮かべながら、ある者は満足そうに眺め
またある者は携帯のカメラで撮影をしている。

絶頂を迎えて、しばらく放心したあと、沙雪は
我に返った。そして、夫への罪悪感と、まだまだ終わらない
この快楽の淫靡な宴への期待で入り混じった感情を
整理できないでいるのだ…。

ぐふふ♪気持ちよくイってしまっただのお♪
さあて、沙雪さんのいからしい姿を
見せつけられて、ワシら、もう限界
じゃわい♪
たっぷりご奉仕してもらっからの♪



…あ♡♡♡
はあ…はあ…♡♡
は…い…♡♡
（アナタ…ごめんなさい…
私…これから…たっぷり時間をかけて
オジサマたちの玩具にされちゃうの…）

沙雪の目の前には、もうすでにズボンを下ろしている者
おろしていなくても、その凶悪に勃起したモノを
見せつけてくる男たちが何人もいる。
沙雪のカラダは、今からこの男たちの欲望を満足させるため
だけに使われるのだ…